

號 八 十 第

# 報 部

日 一 月 三 年 三 十 和 昭

- 臺灣工業鹽田の擴張  
(專賣局鹽腦課)
- 支那事變に關し執りたる措置  
(文教局學務課)
- 地方情報報  
(臨時情報部)
- 美談集錄(十五)  
(臨時情報部)
- 附錄 事變ニユース 事變日誌

府 督 總 灣 臺

部 報 情 時 臨

昭和十三年三月十一日發行  
昭和十三年三月十一日發行



# 臺灣工業鹽田の擴張

專賣局 鹽腦課

## 緒言

内閣企畫院の國家重要資源の生産擴充計畫として工業原料鹽の大増産を各外地、隣邦に於て急速に實行することとなつた。昨年十二月大藏省專賣局主催の下に内外地鹽務協議會を開催し昭和十六年度本邦工業用鹽二百五十萬噸を目標とし近主遠從主義の方針に基き關東州、滿洲、北支と共に我が臺灣に於ても二十五萬噸の供給を必要とするに至り目下着々鹽田擴張計畫の實行を進めて居る。

## 一 鹽の用途

鹽は普通食鹽と呼び其の名には食を冠して居ても食料用のみでない、寧ろ其の用途は其他の方面が廣く吾々の生活の衣食住の全般に亘つて居る。更に戰時國防上にも重要な役割を演じて居るのである。

食料及各種の鹽藏の場合には大部分食鹽其の儘で使用されるのであるが他の場合には工業用鹽と呼ばれ之を基礎原料として種々なものに形を變へて使用せられて居る。これが化學工業の全般に亘り恰

も機械工業に於ける鐵と同様の地位にあるので鹽が重要資源なりとせられる所以である。之等の主要なるものを擧げると先づ衣食住の衣の方面に於ては最近躍進的發展を遂げ世界第一位となつて居る。又住の方面に於ては之も世界一の生産を擧げて居る硝子工業に使用せらるる曹達灰の原料となつて居る。又この外石鹼でも、齒磨粉でも、健胃劑でも、味の素でも、染料でも、アルミニウムでも、紙でも其他多數の各種工業藥品、醫藥品でも其の製造には鹽を原料とする曹達灰、苛性曹達、晒粉、鹽酸等がなくてはならぬのである。又戰時使用せらるる化學兵器の大部分は鹽を原料とするものである。即ち涙の出る毒瓦斯、嘔の出る瓦斯、猛毒のイペリット等も鹽の中の鹽素を主要成分とするものであるが、反對にこれ等を防毒するものも上記の各種曹達類及晒粉である。此の外火藥、爆藥も食鹽と關係あるものが多數にある。

斯く擧げれば全く際限ない用途を持つて居る。

## 二 内地に於ける鹽需要の大勢

鹽の需要の大勢を食料用と工業用とに區別して見るに食料用の増加は略人口増加に應ずる程度であつて昭和元年度七十二萬噸であつたものが、昭和十一年度には八十一萬噸となつて居るに過ぎない。然るに工業用は化學工業の發達特に人絹工業の隆昌に依り著しく増加し、昭和元年度僅に十萬噸であつたものが昭和十一年には百十萬噸であつて實に十倍餘となり遙に食料用の數量を凌駕して居る。

本年度の見込は百五十萬噸であつて將來益々増加し近き將來に於ては二百五十萬噸（食料用の三倍餘）に達すると云はれて居る。更に獨、英、米等の人口一人當の需要に鑑みる時は工業用鹽のみにても四百萬噸に達するものと考へられるのである。

## 三 内地に於ける食鹽供給の大勢及將來の目標

食料鹽は其の本質上人類生活必需品で而かも代用品の無いことよりして又内地産業の保續及失業問題等を考へて出来るだけこれを内地に保有することが必要である。其の供給は内地鹽の一箇年産額の六十萬噸と臺灣、關東州及青島より各六―七萬噸の移輸入に依つて充足されて居る。

工業用鹽は其の製品が各種工業の基礎原料であり、又國際的商品でもあり、且つ從來我國の需要が比較的廉價なる外國品（主として英國ブラナム社製品）に依つて供給せられて居つた關係上優良、安價なるものを多量に供給することを必要條件とするのであつて、内地産鹽を以てしては充當出來ぬのである。又臺灣、關東州の天日製鹽でも其の價格、品質の點に於て青島、伊領ソマリランド鹽等に對比し工業用としては忌避せられたこともあつたのである。

元來我國は鹽の資源に關しては比較的幸運であつたと云はれる。即ち事變の都度國運發展し鹽の資源を持つた地域が關東州、滿洲、北支と次々に勢力範圍となつて來たのである。

然し近時の化學工業の躍進的發展に對しては之等資源も其の數量に於てすら僅少に失し到底充足出來ないのである。之を年度別に計數によりて示すに臺灣、關東州、滿洲、北支（青島を含む）の産鹽を

近海鹽、佛領印度支那、シヤム、ジャバの産鹽を準近海鹽、其他の世界各地即ち東部アフリカ地方(伊領ソマリランド、佛領ソマリランド、エリトリア、エジプトスダン、エジプトアデンの諸地域)トルコ、スペイン、獨逸、英國、米國、チリ等の産鹽を遠海鹽として區分すれば次の通りである。

工業用鹽供給狀況 (左傍は各地の供給割合を示す)

年度別	近海鹽	準近海鹽	遠海鹽	計	備	考
昭和七年度	(三八九%)	(一〇五%)	(二七二%)	(四四一%)	上記中臺灣供給高	(二九%)
同八年度	(二九三%)	(一〇五%)	(四三三%)	(七三三%)	同	ナシ
同九年度	(三三三%)	(五五二%)	(六四一%)	(一〇〇二%)	同	ナシ
同十年度	(三三六%)	(九九五%)	(五八二%)	(一〇九三%)	同	(二〇%)
同十一年度	(五六七%)	(三二八%)	(四九二%)	(一〇八七%)	同	(二一%)

この表で示される通り遠海地方より國內需要鹽を多量に求めて居ると云ふことは、本邦重要産業上に國防上より見て重大なる缺點であるのみならず、國際貸借の上より見て不利であるから、一日も早く我が外地及隣邦より確實に供給する様にせねばならぬのである。これが食鹽供給國策の所謂近主遠従主義であつて大體の目標を工業用鹽需要總額の近海鹽が八〇%、遠海鹽が二〇%と云ふ所に置してゐる。

昭和十二年度に於ては工業用鹽移輸入數量は更に増加して百六十六萬噸(其の内臺灣鹽五萬噸)となり、其の内近海鹽は四十九%を占め辛じて昨年度程度の割合を供給し得る見込である。之も政府の強力なる統制と遠海の船賃の昂騰等に因つて居るのであるから上記の目標の達成には尙異常なる努力を要する次第である。

#### 四 臺灣鹽と内地工業用鹽

臺灣に於ける最近一箇年の天日鹽の需給の主要は生産額十六萬噸、島内用六萬噸、内地食料用七萬噸、内地工業用三萬噸となつて居る。目下建設中の七股鹽田(臺南州北門郡下)が明年中には完成しこれが熟成すれば約四萬噸を生産するので工業用は七萬噸となるのである。

然しこの數量は前項の表(備考欄参照)よりすれば多量とはなるが、尙莫大なる内地工業用鹽に對してはまだ九牛の一毛に過ぎず。内地不足資源に對して果すべき外地の使命に鑑みる時は吾人の責務の大なるを痛感するのである。特に今次の事變に際しては青島鹽、山東鹽の輸入杜絶、長蘆鹽(天津地方産)の輸入困難となり、又輸入管理強行等に依り遠海鹽の減額の必要を生じ、更に冬期となつては關東州、滿洲、長蘆は凍結に依り積出不能となりたるを以て本島鹽に對する要望の切なるものあつて鹽田擴張に依る大增産を焦眉の急とするに至つた次第である。

#### 五 臺灣の新設鹽田計畫

臺灣に於ける製鹽地域は臺南州及高雄州北部の海岸地方であつて、此處には一萬數千町歩の鹽田好適地あり、其の氣象條件は熱帶地特有の光と熱に恵まれ周年の製鹽作業が出来、降雨も比較的少なく特に秋冬季は所謂乾燥期にして長期快晴の繼續する等製鹽上好適である。又冬季季節風強烈なることあるも關東州、滿洲等とは違ひ周年積出可能なるの利便もあるのである。茲に於て當局の懲懲と相俟ち有力なる企業家の鹽田開設希望の申出あり、當局に於ては過般の大藏省主催の内外地鹽務主任官會議に於て本島鹽業の工業用鹽として大進出の必要なる所以を力説し、昭和十六年度二十五萬噸、昭和二十年度四十五萬噸の工業用鹽を供給することを目的として近く約六千町歩(實効面積四千五百町歩)の鹽田開設に着手することとなつた次第である。

斯く本島に於て鹽田の大擴張をなすこととなつたのは天日製鹽の氣象に依る生産の變動より生ずる供給不安を緩和するため生産地を各方面に散在せしむる必要に基くは勿論内地工業用鹽供給地として本島特殊事情即ち周年積出可能なること、優良鹽の生産することに因るものなるも、一面最近に於ける本島鹽業の改良の實績に依り優良、安價を條件とする工業用鹽の生産が可能なることを大藏省專賣局並に各關係者の間に認められたるに依るものにして全く慶賀に堪へざる所である。

尙鹽業に附隨して苦汁利用工業を起すことは金屬マグネシウム、加里及臭素等の重要資源を得られるのみならず其の利益に依りて鹽業自體を採算上有利ならしめ得るのである。

尙又本藏省專賣局に於ては我國鹽業政策の近主遠從主義達成の爲遠海鹽の價格如何に拘らず近海鹽を曹達工業會社に割當優先引取をなさしめ、又鹽田開設に關しても其の資金等に就き積極的斡旋をす

る等種々の強力なる方策が實行せられつつあるから、本島に於ける既設鹽田の三倍に達する新設鹽田の大擴張も比較的容易に實行せられる次第である。

斯くて昭和二十年度に於ては臺灣鹽田は總面積八千町歩、平年生産高は約七十萬噸となり、現在の四倍の生産能力を擧げるに至り、從つて内地に供給し得る數量は總額六十萬噸にして現在の約六倍となり、工業用鹽は現在の約十倍となり、臺灣が持つ内地に對する特殊使命の一端を達成し得るのである。

而して本事業は民間會社をして實行せしむると雖も其の本質は國策上重要なものにして其の成否は本島官民の絶大なる援助の如何に賴る所なるを以て關係各方面の協力を切望して止まない次第である。尙東洋市場に於ける我國曹達工業の競争相手が英國のI、C、I、會社なることを思ふ時、將來の鹽業並に其の附隨化學工業の改善發達に對し更に一層其の必要を痛感するのである。

# 支那事變に關し執りたる措置

文 教 局 學 務 課

一 今次事變發生するや本府學務課に於ては時將に暑中休暇中なりしも文教局長名を以て直に州知事、廳長、直轄學校長宛通牒を發し時局に對する學生々徒兒童の訓育に關し遺憾なきを期せしめたり。各學校に於ては右通牒の趣旨を體し教職員自から時局に關し必要なる資料を蒐集し、休暇中にも拘らず夫々適宜の措置を講じ學生々徒兒童を一週一回を標準として學校に召集し訓話謄寫物配布其の方法に依り時局に對する正しき認識を得しめ國民的團結心の養成と國家觀念の強調強化に努む。

## 二 對岸學校職員及家族並兒童の引揚者に對する措置

事態愈々險惡を告げ南支に在住する學校職員及家族並に兒童の生命保全し難く、之等關係者をして本島に引揚避難せしめざるべからざる實情に鑑み、學務課に於ては引揚人員、小公學校學年別兒童數、家族の實情、緣故者の有無等基礎調査をなし更に引揚に際しては夫々部署を定めて引揚者の出迎、案内、宿所、宿舍の世話、引揚兒童就學に關する措置等萬遺漏なきを期せり。爲めに一人の事故なく全部無事引揚を完了せり。

三 八月十三日學校職員並學生々徒兒童をして銃後に於ける非常時國民の責務を全うせしむる爲め左記各項の實行を促したり。

記

- 一、教育教化の任に在る者は克く其の重責に鑑み愈々自奮自勵以て一層其の職務に精勵し益々國民精神の作興に努むるの外特に左の事項を勵行すること。
- (イ) 時局に對する正確なる情報の蒐集研究に努むること
- (ロ) 前項の事項中時局に對する正しき認識と國民精神振作上必要なる事項は之を謄寫し生徒兒童を通じ一般家庭に配布すること。此の場合に於ける字句は最も平易にして一般の容易に理解し得るものたること。
- (ハ) 父兄會、同窓會、部落振興團體、青少年團等各種團體に對し時局に對する正しき認識と國民精神の昂揚強化を計る爲め積極的に之が指導に努むること。
- (ニ) 防衛及非常警備等の活動に對して之が援助に努むること。



海軍將士への慰問袋  
(兼北上市小學校)

- (ホ) 派遣應召軍人の家族に對し之が慰問に努むること。
- 二、職員にして應召者ある場合は同僚の職員は進んで之が職務を分擔し安んじて任に赴かしむる様努むること。
  - 三、派遣應召軍人の子弟に付ては小、公學校にありては授業料を免除し、中等學校其の他の學校にありては授業料を免除し寄宿舎費及入學受験料は之を減免すること。
  - 四、派遣應召軍人の子弟にして必要なるものに對しては學用品其の他の給與及學校給食に關し特に考慮を拂ふこと。
  - 五、教職員互助會、州、廳、市、郡教育會、育英會等に於ては其の事業の施行に當り派遣應召軍人の子弟又は遺族に對し慰問並に救護上特に考慮を拂ふこと。
  - 六、事變に依る對岸其の他よりの引揚者子弟の小公學校入學に就ては必らず其の居住地小公學校に入學を許可すること。
  - 前項子弟中特に貧困なる者に對しては適宜之が救助の方法を講ずること。
  - 七、朝禮・修身・歴史其の他授業に際し又は休暇中の參集日等に於て時局に關する訓話或は時局に際し



布製作狀况  
(愛國高等女學校)



靜修女學校の軍除慰問

周到なる注意を拂はしむること

- 顯揚せられたる銃後の赤誠に關する講話等を行ひ生徒兒童に對し時局に關する正しき認識を與ふると共に其の精神の鼓舞振作を圖ること。
- 八、國民心身鍛鍊運動として行はる、ラヂオ體操、各種體育運動施設等の機會を利用して參會者に對し時局に關する正しき認識を與ふると共に國民の意氣を振作せしむる様適宜訓話等を行ふこと。
  - 九、生徒兒童の恤兵獻金慰問等の費用に關しては作業實習出費の節約其の他適當なる方法に依らしむる様指導誘掖を加ふること。
  - 一〇、派遣應召軍人の遺家族の實情に應じ最寄在任の生徒兒童をして其の生業家事通信等に關し適當に勞力奉仕を爲さしむること。
  - 一一、學校に於ける行事並に父兄會、同窓會等の開催に付ては時局に鑑み苟も浮華輕佻に流るゝが如き事なき様注意せしむること。
  - 一二、學校に於ける校友會機關新聞雜誌の内容等に付ては

各學校に於ては愈々時局に對する認識と非常時に於ける銃後國民の責務を痛感し全面的に活潑なる繼續的活動を開始せり。

四

帝國海軍に飛行機學校號献納

今次事變に際會し全島學校職員學生々徒一團となり益々國民精神を發揚し國防觀念を強調する爲、帝國海軍に對し最新式優秀機報國臺灣學校號一機を献納のこととし一齊に離金せしむる事とせり。而して献納機の製作費は約十五萬圓を要し今回釀出する金額は従前釀出せる臺灣學校號献納金と合して献納のこととし、其の額一萬五千圓にして之が献納の手續を了し目下進行中なり。

五

時局に關する訓話並に教化資料編纂

學校生徒兒童を通じて父兄並に一般民衆に對し支那事變に關する正しき認識と國民精神の喚起とを圖り銃後の護りを堅くする目的を以て八月以來毎月三回約八十頁の冊子を毎回約五萬部を發行全島の學校並に生徒兒童其の他の團體に配布し生徒兒童の訓育並に一般民衆に對



慰問隊軍の團年青子女市東屏

する非常時國民の自覺と國民精神の振作昂揚に努めつゝあり。

六

九月十一日文教局長名を以て各州知事廳長直轄學校長宛照會をなし派遣應召軍人見送りに歌唱せしむる軍歌の選擇につき注意を喚起し應召軍人の志氣を鼓舞するため日本陸軍の如き勇壯活潑なるものを撰定せしむることとす。

七

派遣應召軍人子弟の授業料免除

學校に於ける派遣應召軍人子弟の授業料免除につきましては八月十三日附國民精神振作に關する件を以て各州知事廳長並に直轄學校長宛依命通牒せるものが免除に當りては事由の發生と同時に即時實施せしむることとし中等學校等學則改正を要する向きは至急手續せしむべく各州知事廳長宛照會せり。

八

時局に對する學校教職員教育報國

事變發生以來學校教職員の活動に關しては屢々通牒せし所なるも未だ其の徹底を缺くるの憾あるを



臺灣南州北門郡培子察公學校(臺南州北門郡培子察公學校)



以て各州知事廳長並に直轄學校長宛照會をなし、其の注意を喚起せしむると共に一層時局に對する訓育の徹底と教育報國の精神發揚を督勵せり。

各學校に於ては右趣旨に依り神社參拜國防獻金出征軍人遺家族に對する慰問、軍事的出役奉仕等生徒兒童に對して國民精神を徹底せしむる上に必要な各種訓練を施す外、父兄會其の他の集會等凡ゆる機會に於て時局に對する正しき理解と認識を與へる事に努め愈々學校教職員の教育報國精神發揮に全力を傾注せり。

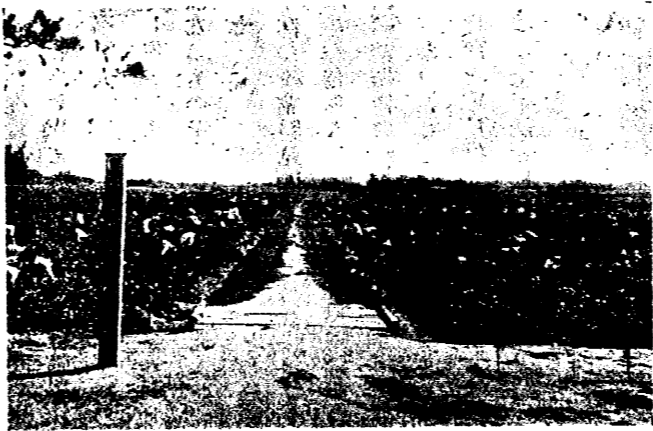
九

在學中現役に服し若は戰時及事變に際し應召せられたる學生々徒の取扱

服役又は派遣應召の爲休學したる學生々徒をして後顧の憂なからしむる爲授業料の免除は勿論進級卒業に對しても左記に依り特に考慮を拂はしむる様各州知事、廳長、直轄學校長宛通牒す。

記

一、學生々徒にして現役に服し若は召集に應ずる者の授業料は其の期間之を免除すること。



麻及棉花栽培後狀 (州南及北門郡後營公學校)

一、服役期又は召集解除の學生々徒は現學年に復して修學せしむるは勿論進級及卒業に付ては出席日數に於て多少の不足を生ずる場合と雖も平素の成績補講追試験若は見込點等を以て特別の取扱を爲すを妨げざること。

一〇

學生々徒兒童の軍事奉仕

學生々徒、兒童をして各種軍事關係事項に参加奉仕せしむるは本島特殊の事情に鑑み國民精神總動員の見地より極めて必要なる事項と認め各州知事、廳長、直轄學校長宛照會し之が實施を圖れり。

各學校に於ては從來夫々銃後國民の責務として各種愛國運動に参加し來るも右の趣旨に依り更に一段の拍車を掛け陸軍墓地の清掃營庭の草刈掃除、被服類の修理洗濯、軍隊用布團包布枕竝に枕覆敷布等の調製傷病兵の慰問派遣應召軍人遺家族慰問及勞力奉仕男女學生各、其の程度に應じ夫々眞劍に之が奉仕に努め學生々徒兒童の訓育上相當の効果を齎す。

一一

學校教職員の會同

時局に關し學校教職員の活動につきては從來屢通牒せし所にして各地方共相當の實績を收めつゝあるも更に教員大會等其の會同を適宜開催せしめ教職員一致團結一層志氣を鼓舞し愈々教育報國の實を擧げしむる様知事、廳長、直轄學校長宛照會を發す。

各地方に於ては夫々地方の實情に應じ州、市、郡等を單位、教育者大會を開催し大に教職員の志氣を鼓舞し愈々教育報國の實を揚ぐることに努めつゝあり。



〇〇〇〇並に輸入品及輸入品を原料とする國內製品の消費節約を圖るは國民精神總動員實施の見地より現下の時局に處し最も喫緊なる事項と認めらるゝにつき、各州知事、廳長、直轄學校長宛照會をなし學生生徒兒童の被服及學用品に關し左記事項の實施方を督勵せり。

記

- 一、學生生徒兒童の制服を新調する場合は羊毛を原料とするものを制服とする學校及青年訓練所に在りては可成全ステープル・ファイバーのもの（外套・帽子に付てはステープル・ファイバーを二割以上可成多量に混用せるもの）を綿を原料とするものを制服とする學校及青年訓練所に在りてはステープル・ファイバーを三割以上可成多量に混用せるものを使用せしむる様勸奨すること。
- 二、制服の定めなき學校及青年訓練所に在りては前項の趣旨に準じて之を取計ふべきこと。
- 三、職員の洋服を新調する場合は可成全ステープル・ファイバーのもの又は尠くとも毛との混用に付てはステープル・ファイバーを二割以上、綿との混用に付ては三割以上可成多量に混用せるものを使用せしむる様勸奨すること。
- 四、裁縫及手藝材料として毛織物、毛糸類を用ふる場合は可成羊毛含有量の少きものを使用せしむること。
- 五、牛皮製のランドセル、シース其の他の學用品に付ては適當なる代用品を使用せしめ牛皮製品の購入を差控へしむること。
- 六、以上の外各學校及青年訓練所に於て適當に工夫し本件趣旨の達成を圖ること。

## 地方情報

### ○事變下の地方情況

#### 臺北州臨時情報部

##### 一 基隆郡戰死者庄葬

當郡の戰死者庄葬は左記日割に依り施行されたり。

當日は何れも小雨霏々として戰死者を哀悼するかの様なりき。式は庄長司會の下に靈柩及び遺族の入場に初まり副齋主以下の獻饌があり齋主大村瑞芳神社々掌の祭詞に移るや一座は一入静まり嗚咽の聲さへあちらこちらに聞えたり。

次で總督以下の弔辭朗讀、弔電披露があり玉串奉奠撤饌でしめやかに式をとぢられたり。

參列者は三百名乃至五百名何れの式場もいつばなりき。主なる來賓は總督代理、知事代理、基隆衛戍司令官、郡守、基隆重砲兵聯隊長、基隆中學校長、在郷軍人會、基隆市聯合分會長、同第三分會長、同金瓜石分會長、各庄長、小公學校長、愛國婦人會基隆郡分會副長の方々で、此の盛儀には在天の英靈も定めし満足し居らるゝことと思へり。

庄名	月日	時	場所	出席者數	官等	氏名
双溪庄	二、三	前	双溪公學校講堂	三〇〇	上	淺川支那夫
七堵庄	二、五	後	基隆中學校講堂	五〇〇	同	福迫靜雄
貢寮庄	二、九	同	貢寮公學校講堂	三〇〇	同	瀬川浩輔
瑞芳庄	二、一〇	後	金瓜石公學校講堂	四〇〇	同	坂田兼次
					同	三木正
					同	赤手林八
					同	北島元辰
					同	額北脇秀雄

二 勞力奉仕

海山郡中和庄に於ては昨年十二月國民精神總動員の趣旨に基き、全庄民を總動員し同庄、土城庄間道路(延長約四軒)の擴張工事に勞力奉仕をなし三日間に於て之を完成せり。

三 美談

1. 中和庄南勢角の游景榴君は日支事變勃發以來本島人として戰場に出て活動し得ざるを遺憾に思ひ

- 今般臺北市某商店店員を態々辭し軍夫志願をなし從軍せり、而して同君の父游有用氏は息子の軍夫志願が叶ひたるを喜び金五圓を國防献金として中和庄役場に提出庄當局を感激せしめたり。
2. 同潭墘の林萬進君は臺北市某吳服店に雇はれ豫ねて節約せる金五圓を「本島人として戰場に出られざるを嘆き僅少乍ら將兵の慰問金として取計はれ度」旨手紙を添へ庄長に提出せり。
3. 同溪洲許色文君は他に卒先して「北支事變皇軍將士慰問袋」と封筒に印刷し自分の部落民に配り金貳拾四圓四拾五錢を募集し派出所を經由庄長に提出せり。  
尙本人は軍夫として出征することを喜び大に活躍する旨誓つて出發せり。
4. 同永和何郭氏瑞音夫人は女の身であり乍ら庄吏員と一緒に永和部落内を巡廻慰問金募集をなし、雨天をも厭はず活動し部落民を感激せしめ、數日ならずして金百八拾八圓貳拾錢を募り慰問金として提出せり。
5. 同溪洲洪頭北君は庄に於て未だ慰問金募集をなさざる前自發的に金貳拾圓を溪洲派出所に慰問金として提出し警察を感動せしめたり。
6. 同南勢角の游任標君、溪洲の許萬寶君は軍夫として志願したるも身體検査の際不合格を宣言され採用せられざるを恥ぢ再三、再四嘆願漸く採用になり、皇軍と共に暴戾支那軍膺懲の聖戦に参加したるを榮譽に思ひ滅私奮闘し居る旨の音信を度々庄長宛にし來れり。

## ○銃後の澎湖

澎湖廳臨時情報部

### 一 恤兵金及皇軍將士竝家族慰問

澎湖廳銃後聯盟に於ては國民精神總動員第二次強調週間に於ける實施要綱として恤兵金寄附及皇軍將士竝に家族を慰問することとし二月十四日林田廳長は要港部、要塞各司令官を訪問懇に慰問の辭を述べたる後恤兵金及慰問金を贈呈し應召將士、軍夫の家族の慰問品は愛國婦人會、國防婦人會等各婦人團體の手を通して贈呈せり。

### 二 時局講演

在郷軍人會澎湖聯合分會、愛國婦人會澎湖支部、國防婦人會澎湖分會主催の下に二月十九日午後一時より時局講演會を開催青木要塞司令官の「婦人より觀たる國民精神總動員」なる非常時局に際し婦人の自覺を促したる熱誠なる講演ありたり。

### 三 婦人會員の勞力奉仕

愛國婦人會支部、國防婦人會の會員二十五名は二月十三日午前十時より馬公要港部武德殿に於て防備隊員通信隊員約百五十名の被服の修理作業奉仕を爲し將士をして感激せしめたり。

## 美談集錄 (十五)

臨時情報部

### ◆ 皇民化途上の華

臨終の一老人

感恩の國防献金

本島に仁政が布かれて茲に四十三年、明治・大正・昭和の三聖代を経て旭日昇天の如く八紘一宇の御旗の下に隆々たる進歩發展、世界に冠たる我が帝國南端の守り。臺灣皇民化運動の華。

基隆市玉田町二丁目に住居を構へ當地唯一の漢方醫として知られた游金水翁は、當年取つて九十三才、領臺前より基隆に住み、漢方醫學の素養深く清朝時代には靈術と迄言はれた腕前を持ち、住民からは起死回生の恩人と慕はれ、一意専心業務に勵み社會に貢献して來たのである。改隸後は直ちに皇恩に浴して醫生の鑑札を受け引續き衛生報國の第一線に立ち、盡力する事茲に六十有餘年、土匪の横行した暗黒時代より文化の今日に至るまで翁の歩んで來た道は唯皇恩に對する感謝と不遇に報ゆる誠意のみであつた。それだけに游翁の意志は固く良き皇民の一人となつてゐたのである。皇威治き善政の數々、臺灣開發の目覺ましき進展等を直接その眼で眺め、深き感銘と報恩の日々を過して來た。早くより世界の大勢を察し、時世の推移を掴み、改隸前の暗い生活に比べ今日の幸福なる生活に唯々感

激の涙に咽ぶのみであつた。

二四

晩年に至つては増々皇民としての立場を認識して積極的に生活の改善、陋習の打破に乘出し、家族を始め附近の若者達を集め世界の大事を説くと共に皇恩の有難さを説き聞かせる翁であつた。かつて文化協會、民衆黨、工友會等の社會運動が勃發するや極力之を排撃し、青年を集めては長い経験と強い信念の上から之が錯誤を指摘し、誤れる思想の是正に務める等隠れたる効績を残し、終始一貫正しい道を堂々と進んで來た。

最近頃には本島人の皇民化運動が高唱されるや率先して其の第一線に参加し、同風會が提唱實行してゐる金銀紙焼却廢止に至つては已に三年前より皇民化の第一歩は家族からの信念の下に率先して實行し提唱して來た程の生活改善の理解者であり、實行者の一人であつた。老人の頑冥に憫む今日稀に見る先覺老翁であつた。

健康老翁游翁も寄る年波には勝てずどつと床につき病床に呻吟する身となつた。時局は進展し事變は日一日と深まり、國民精神總動員の實施、銃後の守り、南方防衛の第一線に朝野を擧げて一致團結邁進してゐる時、もし健康であつたら老軀を引つさげ第一線に立つて働く游翁の姿が眺められたことであらう。

游翁は病床の中から時局に際し活動しつゝある後輩諸子の活動を眺め自分の過去を振り返り、頼もしさど力強さに幾度か安心の微笑をもらした事であらう。

病勢は段々悪化して行つた、家族友人等の手厚い看護に見守られてゐる中であつて、もはや餘命幾

何も無い事を知るや去る一月十三日の夜、長い沈黙を破つて同風會の知己を病床に招き、悟の境に達した聖者の如く靜かに後半生を懐古しつゝ徐ろに自分を見守る人々に謝意を述べると共に死後の事一齊を託し昏々たる眠に落ちた。

一、金五十圓 國防献金となす事。

一、葬式一切 是非改善式にて行ふ事。

かくして十四日午前二時一生の泰公を終つて不歸の客となつたのである。

嗚呼！本島皇民化運動にその一生を献げ、眠るが如き大往生を遂げた游金水翁の生涯こそ實に我が臺灣の華ではないか。否皇國日本の華ではないか。

◆ 國防献金を口にしながら永眠

可憐な軍國兒童

(臺北州臨時情報部)

支那各地に於ける我が皇軍の目ざましい活躍とその勞苦に對し、臺北州坪林公學校兒童はいたくこれに感激し、事變發生以來、各兒童は思ひ／＼に、薪を採つたり、野菜を植ゑたりして之を賣り、お使などして貰つたお金や、お小使の節約などして、零碎な金を醸出して居つたが、昨年九月十八日までに五圓二十九錢となつたので、軍隊恤兵金として陸軍に献納を了した。其の後も尙引續いて實施してゐるが、中に麗はしい話を生んだ。

第一學年王芳榮は、營林所で松かさを買入れ居るを知り、幼な心にも血わき肉躍り、十二月七日自

二五

宅附近の山より松かさ十數筒を採集した。

之を見た父は「松かさを採つて何にするか。」と尋ねたるに、芳榮は「これを營林所に賣つて國防献金にします。」と答へた。

父は危険を慮り「献金の金はあけるからおよしなさい。」といつてとめたが、芳榮は「自分で働いたお金を献金するのが、一番貴い」と先生がおつしやいました。」と答へた。

父も子供の麗しい志に感じ賛意を示したので學校がひけてから毎日松かさ採集に従事した。弱い手で四五日もかゝつて、やつと百餘箇に及んだので之を營林所坪林詰所に差出して、お金の下渡の日を鶴首して待つて居たのであつた。

本人は不幸にも其の後マラリヤに罹り、服薬しながら毎日通學しつゝあつたが、十六日には病勢俄に重態に陥り、早引して家に歸り、直ぐ床に就いた。熱にうかされながら「献金々々」と口すさび居並ぶ人々に涙を拭はしめた。

醫者よ薬よと手厚さ介抱の效もなく、同日午後十時七歳を一期として、遂に此の世を去つたのであつた。

松かさの代金は二十一日營林所詰所より實父に交付せられたので、實父は涙ながらこれを受領し、子供の遺志によつて學校へ届けられた。松かさの代金は、僅か七錢で極めて小額ではあるが、まだ弱い兒童でありながら以上の行動に出でた心情を察すれば實に感慨無量である。

軍國兒童熱誠の進りとして譽め稱へられてゐる。

# 附 録

## 事 變 ニ ユ ー ス

### 第二回事變公債賣出し状況

第二回事變公債は二月十五日から全島の郵便局窓口から一齊に賣出されたが、其の賣上状況は良好であつて二月二十一日までに賣上げ了つた。各地の賣上げ状況は次の通である。

州 別	賣 上 額
新 北 州	一四一、六〇〇
新 中 州	二八、三〇〇
新 南 州	七〇、六〇〇
高 雄 州	九四、一〇〇
高 東 州	四七、五〇〇
高 應 州	五、〇〇〇

花 蓮 港 廳	五、五〇〇
澎 湖 廳	七、四〇〇
合 計	四〇〇、〇〇〇

### 明春實現の本島百キロ放送

#### 南方電波戰の制覇は國策上急務

南方電波戰の制覇を目指して、我が臺灣に建設せられる強力放送局は敷地を臺南州嘉義郡民雄庄頂寮に決定して、二月十九日正式に土地の買収を完了し、總工費二百四十萬圓を以て近々工事に着手することになった。發に逡信部に於ては十二年度から四箇年計畫で經費百九十萬圓を以て百キロワット放送局の新設を計畫したが、其の後企画院、軍部等の支持を得て計畫年月を三箇

年に短縮し、十二年度追加豫算として五十萬圓を計上し  
 總經費二百四十萬圓とした。

放送機は科學日本が世界に誇る國産機を備へ、二百六  
 米の鐵塔を築き、來年五月頃迄に工事を完了し、十月に  
 は早くも我が日本帝國の聲を強力電波に乗せて南洋各地  
 へ送るこゝになつた。

備考

世界各國の大電力放送局を擧げて見ると次の通りである。

國名	局名又は所在地名	放送電力 (キロワット)
日本	東京	一五〇
滿洲	東京	一五〇
アメリカ	シナチ	五〇〇
イギリス	ロンドン	二二〇
ドイツ	ドローイトキッ	一五〇
フランス	リスナガベ	一〇〇
ベルギー	ブリッ	一〇〇
ハンブルグ	ブルグ	一〇〇

フランス	パリ	二二〇
オーストリア	ウィーン	一〇〇
ハンガリー	ブダペスト	一〇〇
フィンランド	ヘルシンキ	一〇〇
ブルガリア	ソフィヤ	一〇〇
ルクセンブルグ	ルクセンブルグ	一〇〇
ルーマニア	ブカレスト	一〇〇
チェコスロヴァキヤ	プラハ	一〇〇
ポーランド	ワルシャワ	一〇〇
スウェーデン	ストックホルム	一〇〇
スペイン	マドリード	一〇〇
メキシコ	メキシコシティ	一〇〇
ソヴィエト	モスクワ	一〇〇

# 附 録

## 事 變 日 誌

### 臨 時 情 報 部

二月十日

1. 京漢線方面の戰期熱し進撃中の我が軍狀左の如し。  
 イ 遠山・森田・石黒・岩倉・北川・中尾・今田の各部隊、彰徳南方數里に展開南進中なり。  
 ロ 宮川・池田・稻葉・石黒・岡本の各砲兵隊呼應せり。
2. 我が軍、黄河・楊子江中間の動脈的交通路たる淮河を完全に制壓せり。
3. 黄河の假鐵橋竣工、開通式を舉行せり。(天津・濟南間の鐵道開通)
4. 中國共産黨領袖周恩來、民衆訓練部次長に就任、

二月十一日

1. 紀元節を期し京漢線湯陰前面に於て、遠山・森田・石黒部隊蜿蜒七・八里に及ぶ大攻撃線を展開、敵は死體三千餘を残して敗走せり。
2. 一部隊は濮陽南方の梁門鎮に達せり。
3. 我が空軍武昌軍官學校に空爆を加へたり。
4. 外務省、厦門よりの引揚民に對し十一萬圓の復歸

國府赤化の一途を辿りつゝあり。(部長一陳誠)

5. 廣東の情勢益々激化、内訌・對立に要人の疑心暗鬼深刻化し探索速捕に狂奔しつゝあり。

6. 我が空軍京漢線黄河の鐵橋を爆破、敵軍の退路を断てり。



費を下附せり。

二月十二日

1. 淮河附近の戦鬪に敗退せる敵軍徐州より固鎮に集結、我が北進部隊と一大會戦展開されん。
2. 遠山・石黒部隊迂回行動し早朝宜溝鎮(湯陰南方)を占領退路を遮断せり。
3. 山田部隊、海軍と協力膠州灣の黃島を占領、武器を没収せり。
4. 心痛の餘り蒋介石病床に呻吟、軍職を白崇禧に委任せり。
5. 我が軍邯鄲西方の武安を占領せり。
6. 我が空軍、江西省、廬山南麓、鄱陽湖畔の星子附近の敵軍に爆撃を加へたり。
7. 淮河渡河戦による我が軍の戦果左の如し。

一、添田部隊の戦果

敵の遺棄死體五〇〇、小銃一〇〇、チェッコ機銃二八、迫撃砲三、彈藥多數。

二、田代部隊の戦果

遺棄死體一、五〇〇、捕虜一五〇、小銃三六

○、チェッコ機銃一七、重機三、迫撃砲一、彈藥七千五百。

二月十三日

1. 濟南方面の敵第三路軍、北部湖沼地帯の咽喉部たる汶上に來襲せるも反撃を加へ敗走せしめたり。
2. 倉林部隊、上密に於て敵軍と遭遇撃戦せり。横尾部隊蚌埠發救援に赴けり。
3. 我が軍未明淮河の支流渦河を渡河、奇襲を以て馬頭集を占領せり。
4. 京漢線南下部隊の戦況。
  - イ、坂西部隊漢陽南方の長垣を占領堂々入城せり。
  - ロ、破竹の勢を以て南下中の今田部隊淇縣城に入城せり。
  - ハ、遠山部隊、淇縣南方に於て約六、七千の敵を撃破南下中なり。
  - ニ、迂回行動により背後に廻れる森田部隊、淇縣南方の淇門鎮に達せり。
  - ホ、石黒部隊淇縣南方約二里の下馬營に進出せり。

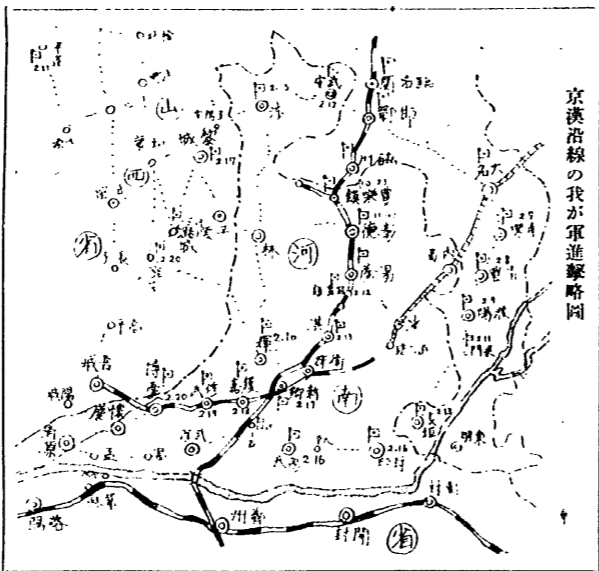
5. 榆次西南方の大谷より南下せる鈴木、貴島、細川部隊、平遙縣城を占領せり。
6. 太原より南下せる部隊開欄鎮を占領せり。
7. 廣東省粵漢線を中心に鐵道・道路に空爆を加へたり。

二月十四日

1. 全椒より西進中の今部隊、西方二十軒の小集子を占領せり。
2. 兩角部隊楊家庄に於て三・四百の敵を撃破廬州(合肥)に向け進撃中なり。
3. 太原西南地區の我が軍文水を突破米家莊(太原西南十四里)に進出せり。
4. 我が陸戦隊、牟平(芝罘東方)の敗殘兵を掃蕩先遣隊は高家屯に達せり。
5. 我が空軍、柏橋(余坑・新城の中間)、鄭州(停車場・司令部・貨車)牟平に爆撃を加へたり。

二月十五日

1. 倉林・田代・横尾部隊、上密の敵を包圍撃破せり、敗走の敵部隊壽縣に集結中なり。



京漢沿線の我が軍進撃略図

2. 京漢沿線の我が軍、涉縣(河南省北端)を占領引續き進撃中。
3. 京漢線南下中の我が軍衛輝の北方に迫り猛撃中なり。

二月十六日

1. 阪西部隊何等の抵抗も受けず封邱を占領、引続き急進太平鎮を突破陽武を占領せり。
2. 遼山部隊、輝縣を占領堂々入城せり。
3. 石黒部隊中屯(新郷北方)の敵を撃破輝縣東南方に進出せり。
4. 森田部隊、道清鐵道に沿ひ南下山彪鎮を占領せり。
5. 同浦沿線の鯉登・岡崎部隊、孝義を占領せり。
6. 鈴木・貴島部隊、介休(汾陽南方)を占領せり。
7. 我が空軍、廣西省粵漢・廣三兩線及東江・珠江を爆撃せり。

二月十七日

1. 鯉登・岡崎部隊、白壁關(孝義西方十二村)の堅壁を占領せり。
2. 涉縣を進發せる我が部隊、東陽關を突破黎城に進入せり。
3. 佐々木部隊、汾陽城を完全に占領せり。
4. 森田部隊、新郷に入城せり。

二月十八日

5. 坂西部隊、迂回行動し小吉鎮の線に進出せり。
  6. 我が軍艦、揚子江を逆行する事數十哩附近の敵を撃破江上を確保せり。
  7. 廣西省外米杜絶ミ不作の爲米飢饉に陥り恐慌を來しつゝあり。
  8. 廣東(天河飛行場)・長沙(飛行場)粵漢線に空爆を加へたり。
- 二月十八日
1. 森田部隊、獲嘉を占領尙進撃中。
  2. 同浦線の鈴木、細川部隊、靜昇鎮(介休南方十六村)を占領せり。
  3. 介休より汾河に沿ひ進撃中の森本部隊、後庄(介休西南十村)を占領せり。
  4. 山東省南部地區清掃中の岡本部隊、蔣峪を經て稜陵關に進出せり。
  5. 左の地點に空爆を加へたり。  
漢口(四十機と空中戦、内十八撃墜。十機爆破)・富陽(杭州南方)臨縣附近石口鎮(陝西省)・衡陽(湖南省)・重慶(十四機爆破)。(以下次號)

昭和十三年二月二十六日印刷  
昭和十三年三月一日發行

(月三回發行)

### 臺灣總督府臨時情報部

臺北市榮町二丁目十五番地

印刷人 加藤 豊吉

臺北市京町二丁目四十三番地

印刷所 小塚本店印刷工場